

決算報告

◆総合的所見

活力ある街であり続け、市民の皆さんが夢を語り、希望を叶えることができる「希望の街・下関」を実現するため、

▼未来へと躍進する街

▼力強く躍動する街

▼安全・安心の街

▼改革に挑む街

の4つの視点を柱とした諸施策を着実に実行しました。

その中でも、最重要施策として、子育て強力支援(For Kids For Future)推進のために、経済的支援やサポート体制、環境整備など、支援の充実を図るとともに、物価高騰対策を中心とした、住民税非課税世帯や子育て世帯に対する生活支援等を実施しました。

一般会計の歳入歳出差引決算額(形式収支)は62億3030万円でした。このうち翌年度へ繰り越すべき財源は20億4801万円、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は41億8229万円の黒字となりました。

決算書は、市HPや市役所本庁舎西棟1階、各総合支所、本庁各支所、各図書館で見ることができます。



▲市HP

家計に例えると

収入 (歳入)

▷給料(諸手当)(各種交付金・地方交付税)
定額減税減収補填特例交付金の増 → 増加

▷預金引き出し(繰入金)

ボートレース未来基金繰入金の増 → 大きく増加

▷副業収入(収益事業収入)

ボートレース事業収入の増 → すべて増加

名 称	令和5年度	令和6年度	割合
給料(基本給)(市税・使用料など)	15万3千円	15万2千円	23.8%
給料(諸手当) (各種交付金・地方交付税)	14万4千円	15万1千円	23.6%
親からの援助(国県支出金)	15万7千円	14万4千円	22.6%
ローンの借り入れ(市債)	3万9千円	4万3千円	6.7%
預金引き出し(繰入金)	2万6千円	4万1千円	6.4%
不動産収入・利子(財産収入など)	2万7千円	3万2千円	5.0%
副業収入(収益事業収入)	—	5万円	7.8%
前月の残り(繰越金)	2万1千円	2万6千円	4.1%
合計	56万7千円	63万9千円	100.0%

支出 (歳出)

▷食費・教育費・公共料金・生活用品費など
(人件費・物件費) 退職手当の増 → 増加

▷家の修繕・改築など(投資的経費など)

市立大学看護学部棟整備等の大型建設事業費の増
→ 大きく増加

▷預金(積立金)

ボートレース未来基金の積立金の増 → 大きく増加

名 称	令和5年度	令和6年度	割合
食費・教育費・公共料金・生活 用品費など(人件費・物件費)	14万8千円	16万2千円	26.5%
医療費(扶助費)	13万5千円	13万7千円	22.4%
ローン返済(公債費)	5万1千円	4万8千円	7.8%
子への仕送り(繰出金)	6万1千円	6万2千円	10.1%
交際費など(補助費など)	4万9千円	5万円	8.2%
家の修繕・改築など(投資的経費など)	8万2千円	9万5千円	15.5%
預金(積立金)	1万6千円	5万8千円	9.5%
合計	54万2千円	61万2千円	100.0%

※住民一人当たりへ換算した借金(市債現在高)は45万7千円、預金(基金残高)は15万4千円です(令和7年3月31日現在)。

※令和6年度の一般会計歳入歳出決算額を、市の人口(24万1,776人/令和7年3月31日現在)で割り、算出しています。

子育て強力支援

【主な事業】

- ▷第2子以降保育料無償化事業
- ▷こども家庭センター運営業務
- ▷就学前施設ICT化事業
- ▷保育士独自加配支援補助事業
- ▷学校特別教室空調設備整備事業
- ▷インクルーシブ公園整備事業

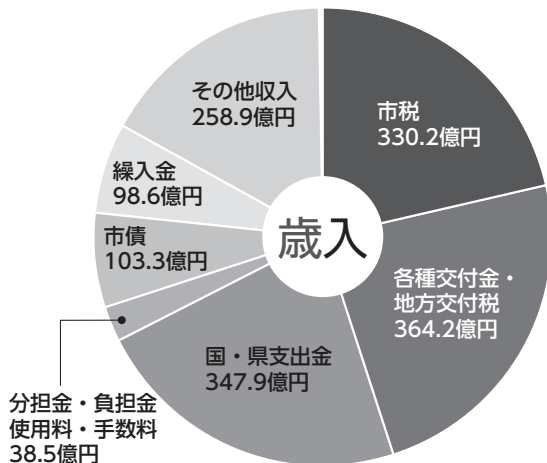
物価高騰対策

【主な事業】

- ▷低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業
- ▷住民税非課税世帯に対する価格高騰重点支援給付金給付事業
- ▷就学前施設副食費等物価高騰対策支援事業
- ▷学校給食費支援事業

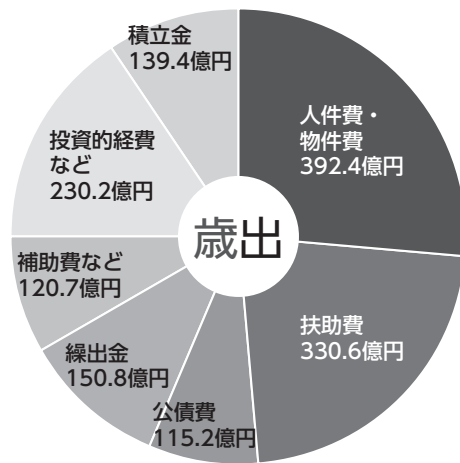
一般会計

歳入 1,541億5,706万円



一般会計

歳出 1,479億2,676万円



基金・市債

名称	令和5年度	令和6年度
基金残高	303億2,067万円	372億7,323万円
市債現在高	1,112億3,691万円	1,104億5,044万円

資金不足比率

名称	令和5年度	令和6年度	経営健全化基準
資金不足比率 (病院)	5.7%	—	20.0%

健全化判断比率

名称	令和5年度	令和6年度	早期健全化基準
実質公債費比率	9.9%	9.3%	25.0%
将来負担比率	45.3%	43.0%	350.0%

※資金不足比率…事業規模に占める資金不足額の比率。 ※実質公債費比率…公債費などの比重を示す比率。
 ※将来負担比率…地方債残高のほか一般会計などが将来負担すべき実質的な負担を捉えた比率。

解説

健全化判断比率は、いずれも大きくなるほど、財政が悪化しているとされる早期健全化基準を下回っています。令和5年度決算において、病院事業会計で資金不足が生じましたが、一般会計からの経営支援交付金などにより、資金不足は解消しました。

主な取り組み

未来へと躍進する街



市立大学看護学部棟

- 市立大学の魅力向上や地域貢献に資するため、新学部の設置に必要な校舎等を整備し、総合大学化を推進しました。
- 老朽化が進んでいる小・中学校校舎等の大規模改修や予防保全をはじめ、トイレ快適化に取り組み、児童・生徒の教育環境の改善を図りました。

力強く躍動する街



展望台(ヒノヤマリンジ)

- 火の山公園で、眺望と自然と歴史を最大限に生かした新たなスポットとして、山頂の展望台(ヒノヤマリンジ)やアスレチック、山麓のキャンプ場整備に着手しました。
- 海響館の長寿命化改修やアシカ展示・繁殖施設建設に着手しました。

安全・安心の街



J:COMアリーナ下関

- 防災拠点の機能も兼ねた新総合体育館を整備し、J:COMアリーナ下関、駐車場、庭球場などが完成しました。
- 持続可能な医療提供体制の確保に向けて、公立・公的等4病院の再編・統合を検討し、新市立病院に関する基本計画の策定を進めました。

改革に挑む街



寄附額
中国地方 1位
ふるさともののせき
応援寄附金

- ふるさと納税寄附金額が前年比で約10億円増加し、過去最高の約26億3,600万円となり、初めて中国地方で1位となりました。
- 各種業務にローコードツールの導入・活用支援を実施し、市民サービスの向上を図りました。